

2022年度日本保健物理学会賞受賞候補者推薦の募集について

2023年1月6日
学会賞選考委員会

(一社)日本保健物理学会では定款第4条第8号に則り、本会に関連する学術上又は技術上の優秀な成果並びに本会及びわが国の保健物理の発展に多大の功績があったと認められる者に対して学会賞を授与しています。2022年度は、功労賞、論文賞、貢献賞、啓発賞、奨励賞及び学生研究優秀賞の表彰を行います。このうち、功労賞、貢献賞、啓発賞、奨励賞については、広く会員から候補を募集することにします。なお、論文賞の候補の選出は編集委員会が行います。また、学生研究優秀賞は大学等教員協議会による一次選考を行います。

つきましては、学会賞の推薦書を下記の要領で学会事務局までお送りください。

記

1 推薦書の締切:2023年2月17日(金)(必着)

2 受賞資格:

- ・2023年4月1日現在で原則として70才未満の正会員、正学生会員または賛助会員を対象とする。
- ・奨励賞にあつては、正学生会員(社会人学生は除く)は本賞の対象とするが、準学生会員は対象に含めない。
- ・学生研究優秀賞にあつては、正学生会員を本賞の対象とするが、社会人学生は除く。

3 賞の種類等

- (1) **論文賞** 学会誌「保健物理」に掲載された、投稿規則におけるB区分のうち原著論文、ノート、資料及びレポート並びにC区分のうち Original Paper, Note, Technical Data及び Report, 及び Journal of Radiation Protection and Research誌(以下、JRPR誌という。)のPaper, Technical Paper, Noteで、特に独創性や新規性のある優れたものを対象とする。選考にあたっては、原則として直近1年間(保健物理:Vol.56 No.1~Vol.56 No.4, JRPR誌:Vol.46 No.1~Vol.46 No.4)を対象にする。複数の会員による共同成果であっても、受賞者に贈呈する賞は原則として1件とする。
- (2) **奨励賞** 直近1年間の学会誌「保健物理」又は「JRPR誌」に掲載された論文等や学会資料の著者又は研究発表会等での発表者(2023年4月1日現在で40歳以下の若手で将来性があると見込まれる会員。論文等や学会資料の筆頭著者である必要はないが、口頭発表では演者とする

る。)を対象とする。なお、当該年の論文等や学会資料あるいは口頭発表の内容のみならず、保健物理分野または保健物理学会への貢献に対する将来の期待性等も評価し、学会での委員会及び専門研究会等の活動状況、保健物理分野での活動状況、並びに過去の学会誌(保健物理や他学会誌)への発表等も考慮することができる。

(3) **功労賞** 学会の運営・発展に特に貢献のあった学会長、副会長、企画委員長、編集委員長、特に重要な委員会委員長等の経験者(ただし、現役の委員は除く)で、通算複数期歴任した会員、又は ICRP等、放射線審議会委員等の行政委員会委員で保健物理分野の発展に特に貢献した会員を対象とする。

(4) **貢献賞** 以下の分野で貢献のあった者を対象とする。①長年保健物理分野(研究、教育等)で特に優れた貢献のあった会員、②企業・メーカー等で保健物理に関する秀逸な機器を開発した会員及び③学会の運営等に係る実務において特に貢献のあった会員。

(5) **啓発賞** 以下の者を対象とする。①長年放射線管理や環境モニタリング等の現場実務に従事したもので、模範的で啓発的な現場実践及び学術活動を通じて保健物理分野を含む社会に特に貢献した会員、②地域社会等での諸活動を通じて保健物理の啓発や発展に特に貢献のあった会員を対象とするものとする。

(6) **学生研究優秀賞** 保健物理を学ぶ学生の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、保健物理分野の研究に精勤し所期の成果を挙げ、保健物理分野の発展に寄与すると思われる優秀な研究に賞(表彰状のみ)を授与する。対象研究は今年度に公表された、または公表予定の卒業論文などの研究論文で保健物理にかかわるものとし、下記の2種類を対象とする。

- 1) 卒業研究:卒業論文、修士論文または博士論文。これらに該当する執筆物がない場合は、それらに準ずる成果物(研究発表会の要旨、原著論文など)。
- 2) 論文:筆頭著者が学生で掲載されたか掲載が決定している論文(査読あり)。

4 募集方法:論文賞については、一次選考は「保物物理」及び「JRPR誌」の編集委員会が行い、一次選考で選ばれた論文の著者へ推薦する旨を伝える。推薦を受諾する著者は推薦書を作成し、提出する。奨励賞、功労賞、貢献賞及び啓発賞については、正会員又は賛助会員代表者の推薦による(自薦・他薦を問わない)。学生研究優秀賞については、大学等教員協議会が一次選考を行い、学会賞選考委員会へ推薦する(一次選考の詳細は別紙「2022年度日本保健物理学会 学生研究優秀賞 一次審査について」参照)。応募は、所定の推薦書に必要事項を記入し、正本1部、コピー1部及び論文別刷などの参考資料各2部を学会事務局へ送付または持参する(推薦書のフォーマットは学会ホームページに掲載する)。表彰は原則として各賞とも若干数とする。ただし、いずれの賞も該当する対象がないときは授与しないものとする。また、学会賞の選考に関する規則等は、学会ホームページに掲載されている学会賞選考委員会運営規則及び同細則を参照のこと。

5 選考:各賞については学会賞選考委員会で候補者の選考を行う。選考委員会は、推薦書及びその添付資料に基づき各賞毎に定量性のある評価を行い、学会賞候補の選考を行う。選考の

結果は理事会へ報告し、理事会で最終的に受賞者を決定する。評価項目は学会ホームページに掲載する。なお、選考委員会委員が受賞候補者又は推薦者となった場合は、該当する学会賞区分に関わる審査には加わらないこととする。

6 授与式:学会賞の授与式は、2023年6月に開催される(一社)日本保健物理学会総会と同日に開催する。

7 推薦書の送付先及び問い合わせ先:〒105-0004 東京都港区新橋 3-7-2 四鹿ビル 3階
(株)国際広報企画内 日本保健物理学会事務局 TEL:03-6205-4649 FAX:
03-6205-4659 E-mail:exec.off@jhps.or.jp

2022年度日本保健物理学会 学生研究優秀賞 一次審査について

2023年1月6日

大学等教員協議会

1. 名 称 学生研究優秀賞

2. 賞の主旨 保健物理を学ぶ学生の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、保健物理分野の研究に精勤し所期の成果を挙げ、保健物理分野の発展に寄与すると思われる優秀な研究に賞を授与する。

3. 対象研究 今年度に公表された、または公表予定の卒業論文などの研究論文で保健物理にかかわるものとし、下記の2種類を対象とする。

1) 卒業研究: 卒業論文、修士論文または博士論文。左記に類するものがない場合は、それらに準ずる成果物(研究発表会要旨、原著論文等)。

2) 論 文: 筆頭著者が学生で掲載されたか掲載が決定している論文(査読あり)。

4. 対象学生 大学院博士課程(後期博士課程)、修士課程(前期博士課程)、大学学部、高等専門学校などの正学生会員(社会人学生は除く)を対象とする。

5. 応募 自薦または会員である指導教員の推薦により応募用紙に記入の上、資料を添えて送付する。募集期間は学会賞と同じとする。2023年2月17日(金)(必着)

6. 審査 大学等教員協議会が一次選考を行い、学会賞選考委員会へ推薦する。学会賞選考委員会において、審議の上選定する

7. 賞の数 対象学生をその在籍する課程に応じて、大学院博士課程・修士課程・学部・その他(工業専門学校等)に4区分し、応募の中から4件(区分ごとに2件程度を上限とする)を学会賞選考委員会へ推薦する。

8. 公表 他の学会賞と同じ

9. 賞品 賞状を授与する。

10. 本賞は他の学会賞と同時に受けることはできない。